

■児童・生徒の学力の状況

「全国学力・学習状況調査」「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から、下記のような傾向が見られた。  
 ○話し合い活動で得たスキルを生かして友達に考えを伝え合う活動に真剣に取り組む児童が多い。  
 ○表やグラフから数値を読み取ったり、条件に合わせて言葉や文章で記述したりすることが難しい児童が多い。  
 ○教科書の図や資料と文を結びつけて考えることができるようになってきた。  
 ○「○字以上、○字以内で答える」という形式の設定で無回答が多かった。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題  
 ※「読み解く力」の育成を踏まえて

主体的で深い学びを推進していく上で、下記のような課題がある。  
 ○教師からの一方的な授業展開にならないように、教師はファシリテート役になる必要がある（一問繋ぎ）。  
 ○ペア学習、グループ学習などを取り入れた学習場面を設定する必要がある。  
 ○話し合い活動では、特に学級活動での話し合いを充実させる必要がある。  
 ○「ここ」「それ」などが指し示す言葉について、教師による問い返しを多くし児童が自らその言葉を見付けられるような場面を設定する必要がある。（照応解決）

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

○基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、学力を向上させる。そのために、「読み解く力」の育成を目指す。「読み解く力」の育成が全ての教科等における学力向上を支えると考え、「読み解く力」を養うための学習の充実を図る。  
 ○書くことを重視し、ノート指導の充実を図る。ノートへの記録を徹底し、さらに内容の充実を目指す。  
 ○児童が主体となる授業づくりに努め、主体的・対話的で深い学びとなるような場面を設定し、授業展開の工夫を図る。  
 ○授業の導入段階を大切に、児童が意欲をもって取り組むことのできる授業の構築を目指す。  
 ○授業のはじめに、ねらいを明確につかませ、学習の見通しをもたせる。また、ねらいに対する振り返りの時間を必ず設け、授業で何を学んだのかを分かるようにする。⇒板橋区授業スタンダードの実践。  
 ○一人一台端末を効果的に活用することで、児童一人一人の学力に応じて、個別最適化された学習内容を精選し、提供する。  
 ○すべての児童に対して、公平で質の高い教育を実践するために、タブレット端末を活用し家庭と連携を図って児童の学びを止めないようにしていく。⇒SDGs17の目標の④の実践。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
読み解く力の育成	一人一台端末の効果的な活用	総合的な学習の時間との連携
○全国学力調査、RST、板二小RSテストの結果を基にスタディアップタイムや授業の改善を図る。 ○基礎的読解力の視点に基づいた授業等による学力の定着・向上を図る。 ○主たる教材は教科書とし、教材分析することで、教科の目標を達成できるようにする。	○一人一台端末で使うことができる多様な教材を使って、個別最適な学びを推進する。理解度が高い児童には発展的な問題に、理解が不十分な児童には前学年までの復習や基礎的な問題に取り組む。 ○一人一台端末を活用して、友達とやりとりをしながら主体的・対話的に学習する力を育成する。	○SDGsを意識した地域・街との関わりのある取り組みを推進する。 ○探究的な学習（総合的な学習の時間）では、3年から6年まで系統性をもって活動する。他者や社会と関わり、自分の疑問を伝えたり相手の話を聞いたりして学びを深める時間を設定する。

■いたばし学び支援プラン2025の実現に向けた具体的な取組

小中一貫教育の推進 板橋のiカリキュラムの活用	個別最適な学び・協働的な学びの実現	カリキュラム・マネジメントの推進
○学びのエリアの研究授業では、読み解く力を意識した手立てや教科のねらいに基づいた手立てを実践していく。 ○スタディアップタイムでは、読み解く力のうち、さらに強化させたい力を高める教材を作成し、児童に取り組ませる。 ○学校独自で作成した板二小RSテストを1年に2回実施し、結果の分析を行い、授業改善につなげる。	○ドリルパークや学習サイトなどを用いて、個別最適化された学習に取り組ませたり、オクリンクやムーブノート、Googleアプリを用いて個人の考えを共有し、意見や考えを深めさせたりする。 ○学びを蓄積させることができるようにする。 ○入力方法（ローマ字入力・音声入力）や学習方法（ノート・プリント・タブレット）など、児童が選択できることを増やしていく。	○ESD（持続可能な開発のための開発）の視点を踏まえ、ビオトープを活用した学習を充実させる。 ○環境教育と教科を結びつけた年間指導計画の加筆修正を毎月行う。 ○総合的な学習の時間で作成した発表資料を、国語の学習と結びつけて異学年間で発表する時間を確保する。